

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(28~29年度:計画作成主体:臼杵市農業再生協議会)(大分県)

取組の概要

対象品目 : 特用作物(茶)(産地面積72ha)
 主な取組主体 : 2法人(農業者5名)
 成果目標 : 生産コストの10%以上の削減
 基準(H27年度) 121.4円/kg
 目標(H30年度) 104.3円/kg
 導入施設等 : 整備事業(荒茶加工施設)

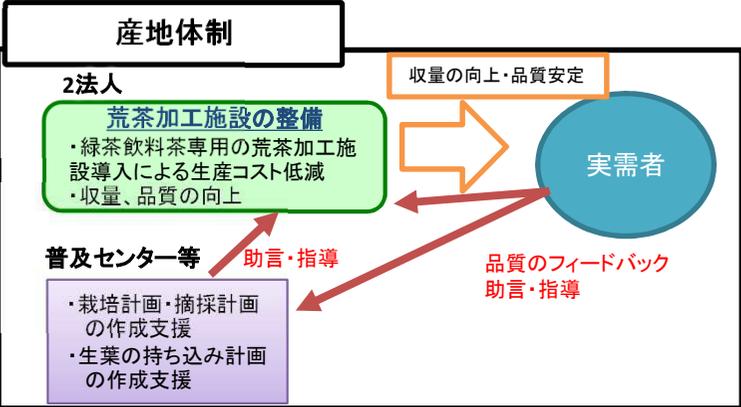
大分県
臼杵市
南野津地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】
 従来のリーフ茶主体の産地から緑茶飲料に特化した茶産地への転換を推進。
 今回、荒茶加工施設に緑茶飲料専用の製造施設を整備することにより、荒茶生産コストの10%以上の削減を実現

↓

【産地の体質強化に向けた方策】
 ①緑茶飲料用茶産地化に向けた荒茶加工施設の導入支援
 ②荒茶加工施設の茶の加工計画作成、生葉の持ち込み支援



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・臼杵市と大分県が緑茶飲料メーカーと茶産地育成協定を締結し、生産体制の整備、技術指導、販売まで連携して事業を推進。
- ・大分県単独事業(活力あふれる園芸産地整備事業)により、茶の新植や省力化機械等の整備を支援。

取組成果

【事業実施による直接効果】
 ①荒茶加工コストが減少
 ②2法人の荒茶生産量向上 (H27 88t⇒H30 173t)

【事業実施による間接効果】
 ①実需との連携強化による指導体制強化
 ②2法人の茶園面積向上 (H27 50.9ha⇒H30 75.4ha)

生産コストが22%減少 (達成率156.7%)

目標値 104.3円/kg

年度	生産コスト (円/kg)	属性
H27	121.4	基準年
H28	84.1	実績値
H29	72.0	実績値
H30	94.6	目標年